

2023年度（2024年3月期）  
決算説明資料

2024年5月14日

 住友大阪セメント株式会社

1. 2023 – 25年度中期経営計画進捗状況
  - (1) 2035年のありたい姿(SOC Vision2035)
  - (2) 2023 – 25年度中期経営計画
  - (3) 数値進捗
  - (4) 事業別売上高・営業利益および中期経営計画達成に向けた取組み①②
  - (5) キャピタルアロケーション
2. 2023年度決算・2024年度決算見通し
  - (1) 国内セメント需要・当社販売数量
  - (2) 2023年度決算概要
  - (3) 2024年度決算見通し
3. 補足資料

- 1. 2023 – 25年度中期経営計画進捗状況**
  - (1) 2035年のありたい姿(SOC Vision2035)
  - (2) 2023 – 25年度中期経営計画
  - (3) 数値進捗
  - (4) 事業別売上高・営業利益および中期経営計画達成に向けた取組み①②
  - (5) キャピタルアロケーション
- 2. 2023年度決算・2024年度決算見通し**
  - (1) 国内セメント需要・当社販売数量
  - (2) 2023年度決算概要
  - (3) 2024年度決算見通し
- 3. 補足資料**

最初に中期経営計画の進捗を説明します。

2035年のありたい姿である「SOC Vision2035」と、最初の3カ年である「2023 – 25年度中期経営計画」はP.4とP.5に記載の通りです。

(1)2035年のありたい姿(SOC Vision2035)

目指す姿：存在感のある会社

- ① 徹底した差別化・独自スタイルによるチャレンジャーとしての存在感
- ② 時代の要請に応えられる環境解決企業\*
- ③ 脱石炭への挑戦

※SOCの環境解決企業とは：

- ✓ 循環型社会・脱炭素社会実現に向けて、環境課題に対する解決策（製品、ソリューション）を提供する企業

2035年目標数値

売上高	4,000 億円
営業利益	400 億円以上
ROE	10% 以上
ROIC	6.5% 以上

事業ポートフォリオ変革

セメント事業	50%
セメント事業以外	50%

## (2)2023 – 25年度中期経営計画

### 全社戦略

#### 既存事業収益改善と成長基盤構築

##### 既存事業収益改善

- ・ セメント事業収益力回復
- ・ 次世代光通信部品の市場シェア獲得による収益改善

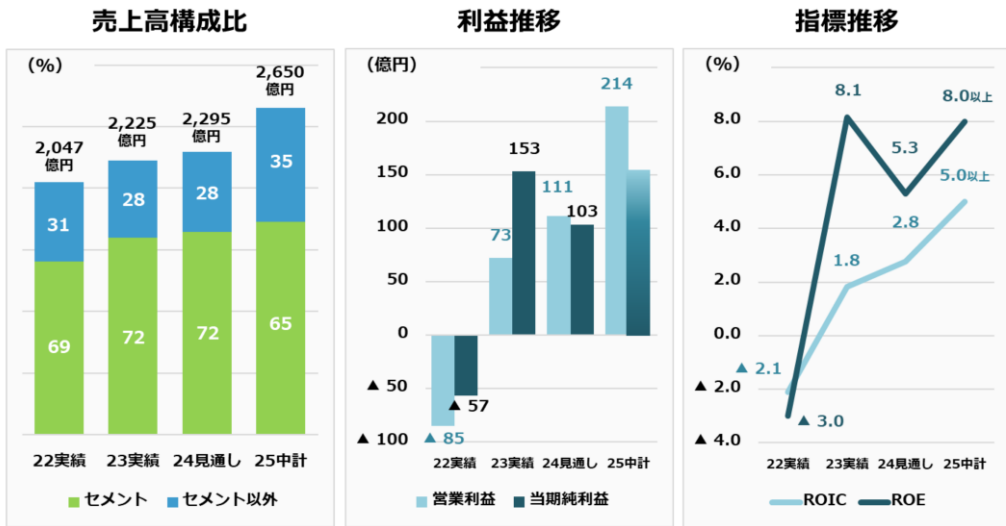
##### 成長基盤構築

- ・ 半導体製造装置向け電子材料事業へのリソース集中投入による規模拡大・収益力強化
- ・ 海外事業拡大（豪州事業）
- ・ 脱炭素分野の新規事業開発

### 経営基盤強化

- ・ **人材戦略**：事業成長を支える人への投資及び新しい人事施策運用
- ・ **研究開発戦略**：高機能品事業分野、脱炭素分野の新規事業創出のための研究開発強化
- ・ **知財戦略**：知財スキル人材育成及び知財情報解析の経営戦略への活用（IPランドスケープ）の推進
- ・ **DX戦略**：各事業部門の課題解決のための基盤整備

(3) 数値進捗



まず、数値の進捗状況です。

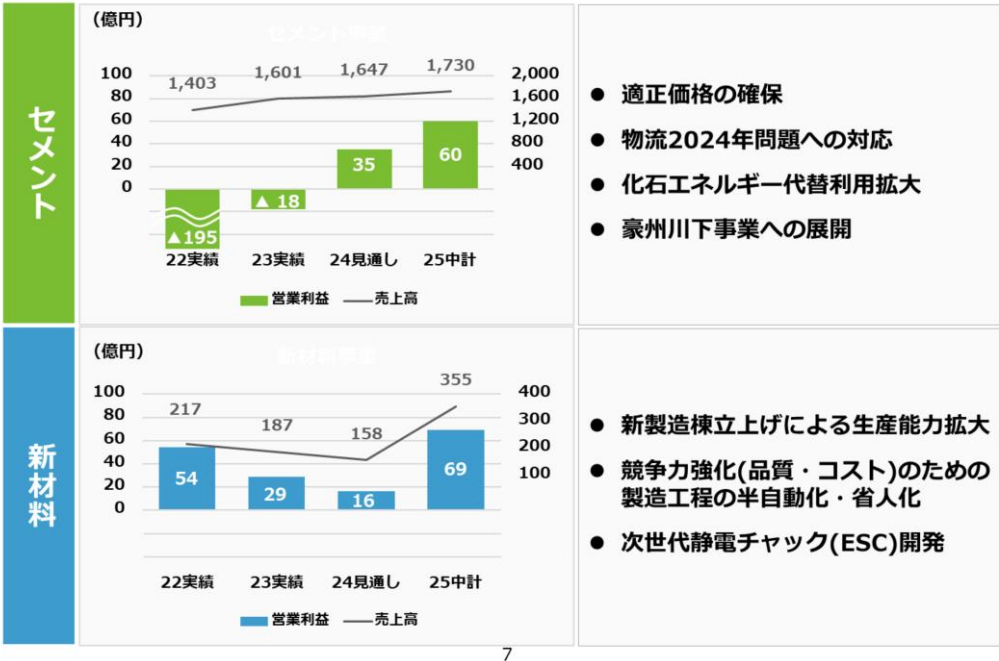
23年度は、セメント事業での値上げ目標の完遂で、全社合計で黒字に転換しました。

また、政策保有株式の売却も進めたことで、ROEも8.1%に改善させることができました。

24年度は、セメント事業が値上げの通年寄与による黒字化を見込んでおり、営業利益はさらに改善する見通しです。

25年度は、さらに新材料事業での静電チャックの販売も回復させることで、中期経営計画を達成したいと考えています。

(4) 事業別売上高・営業利益および中期経営計画達成に向けた取組み①



- 適正価格の確保
  - 物流2024年問題への対応
  - 化石エネルギー代替利用拡大
  - 豪州川下事業への展開
- 
- 新製造棟立上げによる生産能力拡大
  - 競争力強化(品質・コスト)のための製造工程の半自動化・省人化
  - 次世代静電チャック(ESC)開発

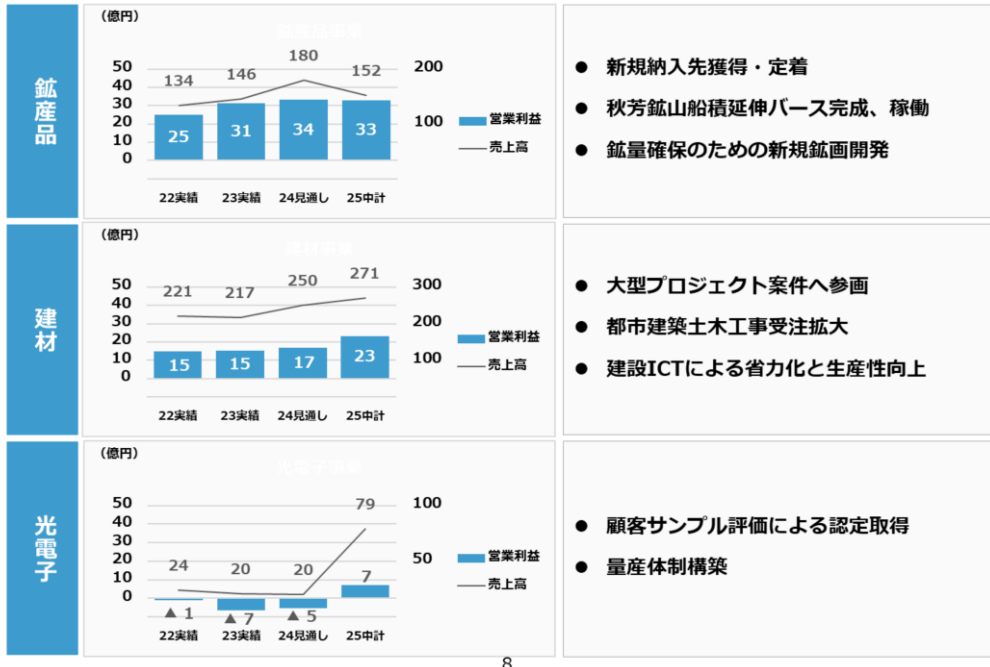
次に、事業別の売上高と営業利益の推移、および中期経営計画の達成に向けた取組みです。

セメント事業は、適正価格の確保、物流2024年問題に対応した輸送力の確保、化石エネルギー代替利用の拡大に努めます。

海外セメントは、豪州ターミナル事業が軌道に乗ってきており、豪州向け輸出も拡大しています。今後は川下事業の展開を進めていきます。

新材料事業は、25年度の静電チャック市場の回復に備え、現在建設を進めている新製造棟を立上げ、それに合わせた製造工程の半自動化や省人化により競争力を強化していきます。そしてさらなる拡大に向けた次世代製品の開発を行っていきます。

(4) 事業別売上高・営業利益および中期経営計画達成に向けた取組み②



鉍産品事業は、現在着工している秋芳鉍山船積延伸バースを完成させるとともに、新規鉍画の開発を行っていくことで、事業を持続的に成長させます。

建材事業は、民間設備投資や防衛関連などの大型プロジェクト工事の受注や、都市部での建築土木工事などの受注拡大をはかります。施工面では、建設ICTによる省力化と生産性向上を進めることで人手不足に対応します。

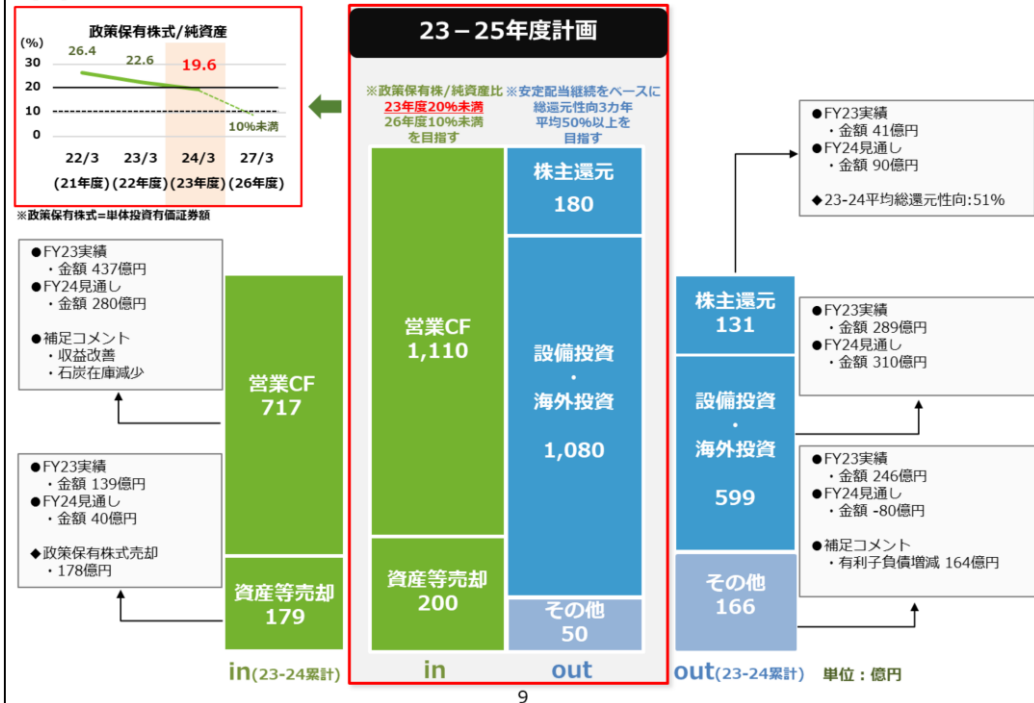
光電子事業は、次世代LN変調器の顧客認定を早期に取得し、24年度中の販売開始を目指し、量産体制の構築を行います。

新材料事業、光電子事業の目標のハードルは高くなっていますが、これらの取組みを着実に実行していくことで、中期経営計画の達成に繋げていきます。



## (5) キャピタルアロケーション

住友大阪セメント



最後に、キャピタルアロケーションです。

計画で掲げた方針に沿って、営業キャッシュフローと資産等売却で得るキャッシュを原資として、投資と株主還元をバランス良く行っていきます。

資産等売却は、23年度に139億円実施しました。特に政策保有株式を前倒しで138億円売却し、これにより政策保有株式/純資産比は19.6%と、目標の20%未満を達成しました。24年度以降も引き続き政策保有株式の縮減に努めます。

株主還元は3カ年平均で総還元性向50%以上が目標ですが、投資とのバランスを見て、配当と自己株式取得により23-24年の2カ年平均の総還元性向は51%となる見通しです。

投資は概ね計画通りに進めており、引き続きカーボンニュートラル投資や成長に向けた投資を行っていきます。

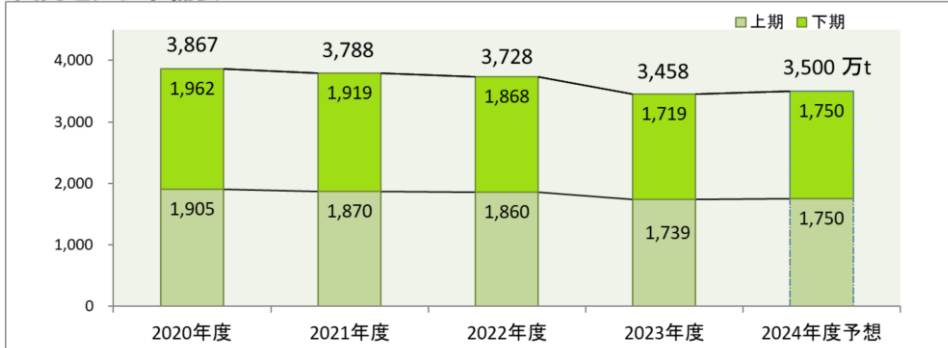
ここまでが中期経営計画の進捗説明となります。

1. 2023 – 25年度中期経営計画進捗状況
  - (1) 2035年のありたい姿(SOC Vision2035)
  - (2) 2023 – 25年度中期経営計画
  - (3) 数値進捗
  - (4) 事業別売上高・営業利益および中期経営計画達成に向けた取組み①②
  - (5) キャピタルアロケーション
2. 2023年度決算・2024年度決算見通し
  - (1) 国内セメント需要・当社販売数量
  - (2) 2023年度決算概要
  - (3) 2024年度決算見通し
3. 補足資料

続いて、2023年度決算と2024年度決算見通しを説明します。

## (1) 国内セメント需要・当社販売数量

### 国内セメント需要



### 当社国内販売数量



### 当社輸出数量



まず、国内セメント需要、当社のセメント販売状況についてです。

2023年度の国内セメント需要は、人手不足や建設コストの上昇等の影響により、官公需、民需ともに減少したことから、前期を7.3%下回る3,458万tとなりました。2024年度は3,500万tと想定しています。

2023年度の当社の国内販売数量は777万tで前期を4.6%下回りました。2024年度は783万tと想定しています。

輸出数量は、2023年度は94万tと前期を18.0%下回りました。2024年度は前期を32.7%上回る125万tを想定しています。

**(2) 2023年度 決算概要**

単位：億円

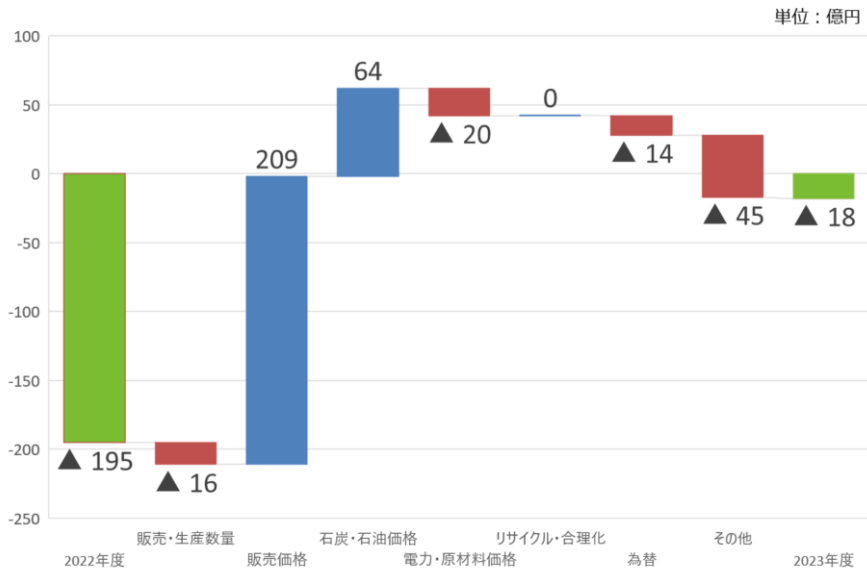
	23年度	22年度	対前期	対2/9公表
売上高	2,225	2,047	178	▲16
営業利益 (うちセメント事業)	72.5 (▲17.5)	▲85.6 (▲195.4)	158.1 (177.9)	3
営業外損益	12.3	7.1	5.2	-
経常利益	84.8	▲78.5	163.3	8
特別損益	101.6	47.4	54.2	-
当期純利益	153.4	▲57.2	210.6	35
1株当たり配当	120円	120円	-	-

次に、2023年度の決算概要ですが、  
売上高は、セメント事業での値上げ効果等により、2,225億円と  
対前期178億円の増収となりました。

営業損益についても、セメント事業での値上げ効果等により  
対前期で158億1千万円改善し72億5千万円の黒字となりました。  
特別損益は、政策保有株式の売却を進めたこと等により  
対前期54億2千万円好転となりました  
以上により、当期純損益は対前期210億6千万円改善し、  
153億4千万円となりました。

2月9日に公表した予想との比較では、売上高が16億円減少して  
いますが、これはセメント販売数量の減少などによるものです。  
当期純利益は公表に対して35億円好転していますが、  
これは政策保有株式の追加売却によることが主な要因です。

## (2) 2023年度 セメント営業利益増減内訳



2023年度のセメント事業の営業損益は、前期195億円の赤字から、販売価格の値上げ効果と石炭・石油価格の低下による改善の一方で、前期に購入した石炭の高単価品使用による影響などがあり、前期と比べ178億円改善したものの、18億円の赤字となりました。

## (2) 2023年度 セグメント別売上/損益

単位：億円

	23年度		22年度		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
セメント	1,601	▲17.5	1,403	▲195.4	198	177.9
鈹産品	146	31.4	134	24.5	12	6.9
建材	217	15.1	221	15.1	▲4	0.0
光電子	20	▲6.7	24	▲1.3	▲3	▲5.4
新材料	187	28.9	217	53.8	▲30	▲24.9
その他	54	20.2	48	18.7	5	1.6
合計	2,225	72.5	2,047	▲85.6	178	158.1

セメント以外の事業では、

鈹産品は、海外鉄鋼向け石灰石の販売数量増加や値上げ効果などで増益。

建材は、ほぼ前年並み。

光電子は、LN変調器の販売数量の減少や、生産コストの増加などもあり、営業損失となりました。

新材料は、半導体製造装置部品である静電チャックの販売数量の減少や、品種構成差による影響などもあり、減益となりました。

### (3) 2024年度 決算見通し

単位：億円

	24年度 予想	23年度 実績	増減
売上高	2,295	2,225	71
営業利益 (うちセメント事業 ※)	111.0 (35.1)	72.5 (▲17.5)	38.5 (52.6)
営業外損益	2.0	12.3	▲10.3
経常利益	113.0	84.8	28.2
特別損益	25.0	101.6	▲76.6
当期純利益	103.0	153.4	▲50.4
1株当たり配当	120円	120円	-

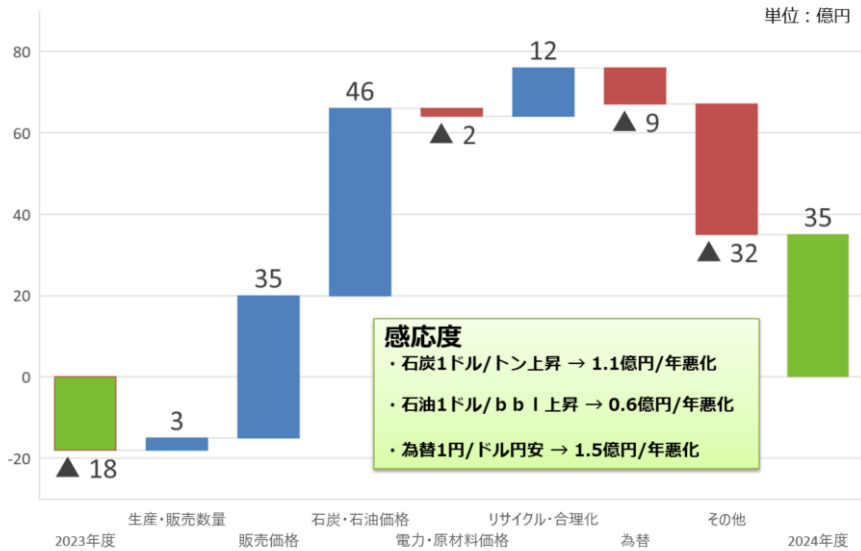
2024年度の決算見通しについては、  
売上高は、セメント事業での値上げ効果等により、  
2,295億円と対前期71億円の増収を見込んでいます。

営業損益についても、セメント事業での値上げ効果等により、  
111億円と対前期38億5千万円の増益を見込んでいます。

営業外損益は、受取配当金の減少などにより対前期10億円の減少。

特別損益は、前年の投資有価証券売却益の反動減により  
対前期77億円の減少となり、  
当期純利益は103億円を見込んでいます。

## (3) 2024年度 セメント営業利益増減内訳



2024年度のセメント営業損益は、  
 為替の円安進行やその他において製造固定費増加などの影響があるものの、販売価格の値上げ効果35億円、石炭・石油価格46億円の好転などもあり、  
 前期18億円の赤字から53億円改善し、35億円の黒字を見込んでいます。



**(3) 2024年度 セグメント別売上/損益見通し**

単位：億円

	24年度予想		23年度実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
セメント	1,647	35.1	1,601	▲17.5	46	52.6
鋳産品	180	33.5	146	31.4	35	2.1
建材	250	16.9	217	15.1	32	1.8
光電子	20	▲5.4	20	▲6.7	▲1	1.3
新材料	158	16.1	187	28.9	▲30	▲12.8
その他	41	14.7	54	20.2	▲12	▲5.6
合計	2,296	111.0	2,225	72.5	70	38.5

2024年度のセメント以外の事業では、

鋳産品は、石灰石の販売数量増加や値上げ効果などにより増収増益を見込んでいます。

建材は、コンクリート二次製品の販売増加などにより増収増益を見込んでいます。

光電子は、LN変調器のコスト削減などにより損益改善を見込んでいます。

新材料は、半導体製造装置部品である静電チャックの販売が減少することから、減収減益を見込んでいます。

以上が決算に関する説明となります。

1. 2023 – 25年度中期経営計画進捗状況
  - (1) 2035年のありたい姿(SOC Vision2035)
  - (2) 2023 – 25年度中期経営計画
  - (3) 数値進捗
  - (4) 事業別売上高・営業利益および中期経営計画達成に向けた取組み①②
  - (5) キャピタルアロケーション
2. 2023年度決算・2024年度決算見通し
  - (1) 国内セメント需要・当社販売数量
  - (2) 2023年度決算概要
  - (3) 2024年度決算見通し
3. 補足資料

### 3. 補足資料 2024年度 セグメント上下別売上/損益

単位：億円

		24年度予想			対前年比較		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高	セメント	808	838	1,647	33	13	46
	鉱産品	88	92	180	16	19	35
	建材	118	132	250	13	20	32
	光電子	9	11	20	▲3	2	▲1
	新材料	75	82	158	▲31	2	▲30
	その他	20	21	41	▲7	▲6	▲12
	合計	1,118	1,177	2,295	20	50	70
営業利益	セメント	3.5	31.6	35.1	35.2	17.5	52.6
	鉱産品	15.2	18.3	33.5	▲1.1	3.2	2.1
	建材	6.7	10.2	16.9	0.8	1.0	1.8
	光電子	▲3.4	▲2.0	▲5.4	▲1.7	3.1	1.3
	新材料	7.0	9.2	16.1	▲11.7	▲1.1	▲12.8
	その他	7.0	7.7	14.7	▲3.4	▲2.2	▲5.6
	合計	36.0	75.0	111.0	17.6	20.9	38.5

### 3. 補足資料 2024年度セメント営業利益上下別増減内訳

単位：億円

	23→24年度		
	上期	下期	年間
販売・生産数量	▲1	4	3
販売価格	35	0	35
石炭・石油価格	36	10	46
電力・原材料価格	0	▲2	▲2
リサイクル・合理化	6	6	12
為替	▲7	▲2	▲9
その他	▲34	2	▲32
<b>セメント 営業利益増減</b>	<b>35</b>	<b>18</b>	<b>53</b>

感 応 度	石炭	1\$/t 上昇	1.1億円/年 悪化
	石油	1\$/bbl 上昇	0.6億円/年 悪化
	為替	1円/\$ 円安	1.5億円/年 悪化

### 3. 補足資料 資産負債の状況

単位：億円

	23年3月末 実績	24年3月末 実績	25年3月末 予想
現金及び預金	145	187	145
有形固定資産	1,766	1,845	1,948
投資有価証券	478	449	421
その他の資産	1,177	1,082	1,074
資産計	3,566	3,563	3,588
有利子負債	997	795	834
その他の負債	722	800	798
負債計	1,720	1,595	1,632
純資産	1,846	1,968	1,956
負債・純資産計	3,566	3,563	3,588

### 3. 補足資料 キャッシュ・フローの状況

単位：億円

	23年度実績	24年度予想
税金等調整前当期純利益	186	138
減価償却費(含むのれん償却)	217	225
債権・債務増減、法人税他	34	▲ 83
営業キャッシュ・フロー	437	280
固定資産取得	▲ 289	▲ 301
資産等売却	139	40
その他	▲ 4	▲ 9
投資キャッシュ・フロー	▲ 154	▲ 270
フリーキャッシュ・フロー	284	10
有利子負債増減	▲ 202	38
自己株式取得	-	▲ 50
配当金支払他	▲ 42	▲ 40
財務キャッシュ・フロー	▲ 244	▲ 52
現金及び現金同等物の増減	42	▲ 42

### 3. 補足資料 業績等の推移

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度予想
売上高	億円	2,393	1,842	2,047	2,225	2,295
営業利益	億円	166.3	68.8	▲85.6	72.5	111.0
経常利益	億円	176.4	98.3	▲78.5	84.8	113.0
親会社株主に帰属する当期純利益	億円	117.2	96.7	▲57.2	153.4	103.0
総資産	億円	3,297	3,311	3,566	3,563	3,588
有利子負債	億円	514	566	997	795	834
純資産	億円	2,058	2,032	1,846	1,968	1,956
総資本経常利益率 (ROA)	%	5.4	3.0	▲2.3	2.4	3.2
自己資本当期純利益率 (ROE)	%	5.9	4.8	▲3.0	8.1	5.3
投下資本利益率 (ROIC)	%	4.5	1.8	▲2.1	1.8	2.8
有利子負債/純資産 (D/E)	%	25	28	54	40	43
営業+投資キャッシュフロー (FCF)	億円	139	22	▲360	284	10
政策保有株式純資産比率	%	24.9	26.4	22.6	19.6	17.7

### 3. 補足資料 業績等の推移

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度予想
設備投資	億円	215	207	297	294	328
減価償却費	億円	188	194	202	217	225
研究開発費	億円	32	31	31	35	36
金融収支	億円	10	20	13	6	1
期末従業員数	人	3,065	3,068	2,896	2,886	-



### 3. 補足資料 2024年度 単体決算見通し

単位：億円

	24年度 上期	24年度 下期	24年度 年間
売上高	909	939	1,848
営業利益	19.1	44.4	63.5
経常利益	34.0	45.0	79.0
当期純利益	27.0	63.0	90.0

### 将来に関する記述等についての注意事項

- ・本資料における将来の業績等は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものです。
- ・実際の業績等はさまざまなリスク要因や不確実な要素により、異なる可能性があります。